

総合計画体系	政策No.	4	政策名	未来を担う人と文化を育むまちづくり	施策主管課	生涯学習課
	施策No.	4	施策名	スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える	施策主管課長名	平野 玉緒
関連個別計画					関係課名	
那珂市スポーツ推進計画(R6～R12)						

1 施策の目的と指標

① 対象(誰、何を対象としているのか)*人や自然資源等		③ 対象指標(対象の大きさを表す指標)			
市民		名 称	単位	名 称	単位
	A	人口(常住人口)	人	C	
	B			D	
② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)		④ 成果指標(意図の達成度を表す指標) *:総合計画の目標指標			
スポーツに親しむ		名 称	単位	名 称	単位
	A	体育施設利用者数*	人	D	スポーツ協会登録人数
	B	日頃からスポーツに取り組んでいる市民の割合*	%	E	スポーツ少年団(団員)登録人数
	C	スポーツ協会加盟団体数(協会・連盟)	団体	F	スポーツボランティアに関心がある市民の割合
⑤ 成果指標設定の考え方(成果指標設定の理由)		⑥ 成果指標の測定企画(実際にどのように実績値を把握するか)			
スポーツに取り組んでいる指標として「体育施設利用者数」及び「日頃からスポーツに取り組んでいる市民の割合」を設定した。様々なスポーツ機会を示し運動の動機づけに繋がると考え、「スポーツ協会加盟団体数」及び「スポーツ協会連盟登録人数、スポーツ少年団(団員)登録人数」を、また、市スポーツ推進計画で成果目標とした「スポーツボランティアに関心がある市民の割合」も指標に設定した。		A:「体育施設利用者数」、C:「スポーツ協会加盟団体数」、D:「スポーツ協会連盟登録人数」、E:「スポーツ少年団(団員)登録人数」はスポーツ推進室のデータ。 B:「日頃からスポーツに取り組んでいる市民の割合」、F:「スポーツボランティアに関心がある市民の割合」は市民アンケートより把握。			

2 指標等の推移

				前期基本計画期間			第2次総合計画 後期基本計画期間					
指標名		名称	単位	数値区分	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(目標)	8年度(目標)	9年度(目標)
対象指標	A	人口(常住人口)	人	見込み値	53,000	52,800	52,500	52,900	52,700	52,500	52,300	52,000
				実績値	53,187	52,937	53,121	52,700	52,365			
	B			見込み値								
				実績値								
成果指標	C			見込み値								
				実績値								
	D			見込み値								
				実績値								
	A	体育施設利用者数*	人	目標値	248,000	251,000	254,000	257,000	260,000	263,000	266,000	269,000
				実績値	128,066	163,236	242,093	256,805	241,976			
	B	日頃からスポーツに取り組んでいる市民の割合*	%	目標値	45.0	47.0	49.0	66.0	70.0	74.0	76.0	78.0
				実績値	61.0	60.4	61.4	61.0	61.2			
	C	スポーツ協会加盟団体数(協会・連盟)	団体	目標値	18	18	18	18	18	18	18	18
				実績値	18	18	18	17	18	18	18	18
	D	スポーツ協会登録人数	人	目標値	2,502	2,520	2,005	1,837	1,802	1,847	1,847	1,847
				実績値	2,259	2,005	1,837	1,802	1,847			
	E	スポーツ少年団(団員)登録人数	人	目標値	503	474	445	311	333	371	371	371
				実績値	477	451	311	333	371			
	F	スポーツボランティアに関心がある市民の割合	%	目標値	-	20.0	23.5	27.0	17.7	14.5	16.5	18.5
				実績値	15.1	20.1	15.9	15.7	12.5			

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

① この施策の役割分担をどう考えるか(協働による住民と行政の役割分担)	
ア)住民(事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)	
・市民は、スポーツに親しむとともに、「する」「みる」「ささえる」等様々な形で積極的に取り組むことで、健康増進や体力づくりを図る。	
・市民は、地域スポーツ大会、スポーツ観戦、スポーツボランティア、各種教室等に参加し、交流・親睦を深め、スポーツ参画意識を高める。	
・市民自らが指導者となり、スポーツの楽しさを伝え、健康づくりや仲間づくりを支援するとともに地域人材の育成を図る。	
イ)行政の役割(市がやるべきこと、都道府県がやるべきこと、国がやるべきこと)	
・市は、「市スポーツ推進計画」に基づき、本市の特性やニーズに対応した「する」「みる」「ささえる」スポーツに誰もが参画できる機会を創出する施策を実施する。	
・市は、スポーツに取り組む習慣のない、又は少ない市民に対し、スポーツの楽しさや関わり方を伝える。(市スポーツ推進計画の啓発)	
・市は、年齢を問わず、市民ニーズに応じた教室や講習会、大会等を開催し、スポーツを身近に親しめる機会を提供する。	
・市は、スポーツ推進委員と連携を図り、ニュースポーツの普及啓発やスポーツ指導者の活動の充実を図る。	
・市は、スポーツ団体等が自主運営できるよう活動支援や指導者の育成に努め、様々なスポーツの発展を推進する。	
・市は、スポーツ施設の環境を保存するため、施設や設備等の適正な維持・管理に務めるとともに、「体育施設等個別施設計画」に基づき計画的に修繕等を行う。	
② この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか	
・総合型地域スポーツクラブ「ひまわりスポーツクラブ」から、安定的な教室開催場所の確保の要望がある。	
・利用者からは、施設の老朽化に伴う施設の修繕や更新のほか、駐車場拡幅の要望がある。	
・各種スポーツ団体では、団員の減少や後継者確保が課題となっている。	

4 施策の成果水準とその背景

(1) 時系列比較(令和2年度との比較)	(2) 近隣他市との比較(水戸市、ひたちなか市等との比較)
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した。 <input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した。 <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した。	<input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてかなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてどちらかと言えば高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> 近隣他市と比べてほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてどちらかと言えば低い水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてかなり低い水準である。
<p>※上記の背景として考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)</p> <p>・令和2年度の「体育施設利用者数」は、128,066人、令和6年度は241,976人と大幅に増加しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少したことを鑑みると、当該年度は目標値より下回り、利用者はやや減少している。</p> <p>・令和2年度の「日頃からスポーツに取り組んでいる市民の割合(市民アンケート)」は、61.0%から令和6年度は61.2%と、ほぼ横ばいである。</p> <p>・「スポーツ協会登録人数」及び「スポーツ少年団(団員)登録人数」は令和2年度からそれぞれ、412人、106人減少しているが、目標値はどちらも上回った。市民の働き方や価値観、生活様式の変化による組織への参加意欲の低下、少子高齢化やクラブチーム参加などが考えられる。</p> <p>・「スポーツボランティアに関心がある市民の割合(市民アンケート)」は令和2年度の15.1%から12.5%と減少し、目標を大きく下回っている。</p>	<p>※上記の背景として考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)</p> <p>月1回以上のスポーツ実施率は比較できる指標が公表されていないため、週1回以上のスポーツ実施率で比較する。</p> <p>那珂市 R6:53.9% R5:54.9%(市民アンケートより)</p> <p>茨城県 R6:53.5% R5: — (スポーツ実施率調査より)</p> <p>全 国 R6:52.5% R5:52.0%(スポーツの実施状況に関する世論調査より)</p> <p>近隣市町村のデータは公表無し。那珂市の実施率は、国・県の実施率をやや上回っている。</p>

5 施策の現状と課題

<p>① 施策の現状(当市の特徴、その要因として考えられること等)</p> <p>・市内には、なかLuckyFM公園(那珂総合公園)をはじめ、ふれあいの杜公園、神崎グラウンド、笠松運動公園などがあり、スポーツ環境には恵まれているが、どの施設においても経年劣化が進み、屋内外を問わず修繕・整備の必要がある。(市民からの要望が多い。)</p> <p>・供用開始3年目を迎えた「那珂西リバーサイドパーク」の令和6年度の利用状況は、延べ106団体、11,804人と4団体、2,140人増加している。大部分はサッカーによる利用だが、市外の少年団・高校・大学のサッカー部やイベント会社企画のサッカー大会などにも利用されていて、認知度が広まってきている。その他にラグビー、産業用無人ヘリコプター競技大会としての利用があった。</p> <p>・なかLuckyFM公園では、各種スポーツ・水泳教室、市スポーツ協会では、駅伝大会、歩く会やスキー・スノーボード教室、各スポーツ大会など、市民ニーズに応じた教室や大会等を開催している。</p> <p>・スポーツ協会に加盟している団体は18団体、スポーツ少年団も17団あり、多種多様な団体がスポーツに取り組んでいる。</p>	<p>② 施策の課題(基本計画期間を見据えて、どのような課題を解決していかなければならないか)</p> <p>・市民の健康の維持・増進、また地域コミュニティの連帯感を深めるため、日頃からスポーツ活動(「する」「みる」「ささえる」)に取り組む人の割合を増やしていく。</p> <p>・各施設の老朽化が進んでいるため、財源を確保するとともに、「体育施設等個別施設計画」に基づき、計画的に修繕を実施していく。</p> <p>・各種スポーツの振興を図るため、指導者の育成・運営スタッフの確保が急務となっている。</p> <p>・参加者が固定化・高齢化している教室があるため、あらゆる世代の方や今まで参加経験がない方が気軽に参加できる、住民ニーズに応えられる魅力ある教室を開催する必要がある。</p> <p>・市民向け、特にスポーツに取り組む習慣のない又は、少ない方に対し、各種大会の開催やプロスポーツの試合観戦や選手との交流などを契機に、スポーツは気軽に楽しめることができるものであるという意識付けを広げる。</p>
--	--

6 施策の目標設定とその根拠(水準の理由と前提条件)・方針

<p>・「体育施設利用者数」、「日頃からスポーツに取り組んでいる市民の割合」については、第2次那珂市総合計画後期基本計画(R5～R9)において施策の成果を表す指標として位置づけ、それぞれ中間目標値(R7)と目標値(R9)を設定している。</p> <p>・「体育施設利用者数」については、コロナの影響による利用者減少から回復しているものの、「体育施設等個別施設計画」に基づいた施設の安全利用に向けた計画的な修繕により、施設によっては利用できない期間が発生するため、令和6年実績値より年間2,000人の増加を目標とする。</p> <p>・「日頃からスポーツに取り組んでいる市民の割合」は、スポーツ推進計画に掲げる施策・取組を実施していくことで年間2.0%の増加を目標とする。</p> <p>・「スポーツ協会加盟団体数(協会・連盟)」は、現状維持を目標とする。</p> <p>・「スポーツ協会登録人数」は、年々減少傾向であるため、令和6年度実績値の現状維持を目標とする。</p> <p>・「スポーツ少年団登録人数」は、年々減少傾向であるため、令和6年度実績値の現状維持を目標とする。</p> <p>・「スポーツボランティアに関心がある市民の割合」については、令和4年から3年連続減少となっている。昨年パリオリンピックが開催され、スポーツへの関心が高まって、ボランティアへの関心は予想よりも高まらなかった。今後は、ボランティアを含めたスポーツ参画への障害を少なくできるような事業を企画していくこととし、令和6年度実績値から年間2.0%増加を目標とする。</p>
--

7 施策の目標達成のための基本事業

基本事業	基本計画期間における取り組み方針	主な事務事業
スポーツ環境の充実	・体育施設の適切な維持管理と「体育施設等個別施設計画」に基づく計画的な整備・更新 ・那珂西リバーサイドパークの適切な維持管理と更なる利用促進	総合公園管理事業 体育施設管理事業 那珂西リバーサイドパーク管理事業
生涯スポーツ活動の支援	・スポーツ教室、講演会、各種大会等の開催 ・スポーツ推進委員によるニュースポーツの普及啓発活動 ・総合型地域スポーツクラブ「ひまわりスポーツクラブ」の活動支援 ・スポーツ協会活動・運営への支援・多年代が参加可能な新たな大会等の計画	スポーツ教室開設事業 スポーツ推進委員設置事業 団体補助事業(スポーツ協会)